都筑区少年野球連盟大会規定

第1.1版

都筑区少年野球連盟大会規定

大会運営に関する事項

1. 大会適用規定
公認野球規則(最新版)、競技者必携((財)全日本軟式野球連盟))および大会特別規則を適用します。

2. 参加資格
(1) 小学生で編成され登録された単独チームとします。
(注) 選手不足による合同チームでの参加での出場を認めます。但し背番号のカラーは統一すること。
(2) 選手の登録は、10名以上20名以内とし、男女を問いません。

3. 会議は監督主将会議とする。
(1) 監督主将会議には監督とユニフォーム着用の主将が出席すること。なお、代行は認めます。
(2) 監督主将会議で抽選会を行います。
(3) 会議で決められた事項はチーム全員に必ず徹底させてください。

4. 大会特別規則
(1) 試合は7回戦とし試合開始の「プレイ」宣告後、1時間30分を経過したらそのイニングが最終回となります。
日没、降雨などで7回までイニングが進まなくても4回を終了すればゲームは成立する。
(注) 決められた時間が経過したら回数に関係なく正式試合となります。
(2) タイブレーク方式(特別延長)
7回を終了して同点の場合、決められた時間が経過しても同点の場合はタイブレークで行います。
タイブレーク方式は前回の最終打者を一塁走者、その前の打者をそれぞれ二塁走者とし
(投手は除いてよい)、無死一塁、二塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとします。
勝敗が決定しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返しなお勝敗が決定しないときは抽選で
勝敗を決定します。
(注) リーグ戦の場合は、引き分けとしタイブレークは行わない。
(注) 大会運営上7回が終了するか、決められた時間が経過して同点場合はタイブレーク方式を
行わず抽選で勝敗を決定する場合もあります。
(抽選) 抽選は○×式とし○印の多いチームの勝ちとします。
(3) 得点差によるコールドゲーム
点差によるコールドゲームは、3回以降10点差、5回以降7点差とします。
(4) 正式試合
ゲームは7回戦であるが、日没、降雨などで7回までイニングが進まなくとも4回を終了すればゲームは
成立する。
(5) 特別継続試合
試合が4回以前に中止になった場合(ノーゲーム)でも、4回が過ぎて同点で試合が中止になった場合
(正式試合でタイゲーム)でも再試合にしないで後日特別継続試合として試合が中止になったイニング
から試合を継続して行います。
(6) 投手の投球制限
投手の投球については肘、肩の障害防止を考慮し一日7イニングまでとします。
但し、タイブレーク方式の直前のイニングスを投げ切った投手に限り一日最大9イニングまで
投げることができます。
(注) 投球イニングに端数が生じたときの取り扱いは三分の一回(アウト一つ)未満であっても
一イニング投球したものとして数えます。

都筑区少年野球連盟大会規定

競技運営に関する事項

1. その日の第一試合は試合開始予定時刻の30分前までに、第二試合以降は前の試合の4回終了時までに
打順表3通(登録された全員を記入し必ずふりがなを付けたもの)を監督と主将が大会本部に提出し、
登録原簿と照合ののち球審立ち合いのもと攻守を決定すること。
(注) 前の試合が早く終了した場合は次の試合を試合開始予定時刻前に開始することがありますので
試合開始予定時刻30分まえには会場に到着して前の試合の経過に注意してください。

2. ベンチは組み合わせ番号の若いチームを一塁側とする。
(1) 試合中ベンチに入れる人員は登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番･28番、および
選手20名以内とチーム代表者、マネージャー、スコアラーとします。
(注) ベンチに入る全員がスポーツ傷害保険に加入し大会期間中に起きた傷害事故等は
当該スポーツ保険の適用を受けること。
(2) ベンチ内で電子機器(携帯電話、パソコン等)、携帯マイクの使用を禁止する。
なお、ベンチ内でメガホン一個に限り使用できます。
(3) 熱中症対策として試合当日大会本部からの指示により保護者(女性)2名以内をベンチに入れることができる。
(注) 本対策は区大会でのみ認めているもので市大会では認められていません。

3. 使用球と用具･装具
(1) 大会使用球は(公財)全日本軟式野球連盟公認ナガセケンコーボールJ号球とします。
打順表とともに2個提出してください。決勝、準決勝は本部で準備します。
(2) チームはユニフォーム、アンダーシャツなどは同色、同型、同意匠のものを使用すること。
金具の付いたスパイクは使用できません。
尚、裾幅の広いストレートタイプ(エクストラパンツ)のユニフォームの着用は禁止します。
(注) ソックスにストッキングがプリントされたものは認められません。
(3) バット
金属製バット･ハイコンバットは、JSBBのマークの付いた公認バットを使用すること。
(4) 捕手の装具
捕手は連盟公認のマスク(ストローガード付)･ヘルメット･プロテクター･レガースを使用すること。
危険防止のためファールカップも必ず装着すること。(ファールカップは受付時に確認します。)
(5) 打者、次打者、走者、ベースコーチも連盟公認のイヤーフラップ付きヘルメットを着帽すること。

4. シートノックを行う場合は、5分間を限度とします。
シートノックの時、補助員としてコーチ(背番号29･28)も認めます。
(注) 補助員の選手はヘルメットを着帽すること。

5. 申告故意四球については採用します。
守備側チーム監督が審判員に故意四球の意思を伝えた場合は(ボールデット)打者にはボール4個を
えたときと同じように一塁へ進むことが許される。

都筑区少年野球連盟大会規定

連盟取り決め事項

1. ファウルボールの処理について
   ファウルボールが打たれた場合、一塁側のものは一塁側ベンチが三塁側のものは三塁側ベンチが、
   本塁後方のものは攻撃側で処理してください。

2. 攻守交代の時にはボールを必ず投手板近くに置いて交代すること。

3. 試合のスピードアップについて
   (1) 準備投球について
   投手の準備投球は試合開始の表裏および救援時には投手は捕手を相手に5球（1分以内)とし、
   次回からは3球とします。
   (2) 攻守交代について
   攻撃側は第三アウトが成立したらプレーヤーは速やかにベンチを離れて駆け足で守備に向かうこと。
   特にバッテリーは準備投球があるから率先してベンチから出ること。
   (3) 守備側のタイムの回数制限について
   捕手と含む内野手が1試合に投手のところに行ける回数は、7イニング試合にあっては3回以内とします。
   尚、延長戦となった場合は、2イニングに1回行くことができます。
   (注) 監督も行った場合、守備1回、監督1回とします。
   投手のところに行くときは往復を駆け足で行いプレイの開始を遅らせてはなりません。
   (4) 攻撃側のタイムの回数制限について
   攻撃側のタイムは1試合3回とします。
   尚、延長戦(特別延長戦も含む)は、2イニングに1回とします。
   (5) 内野手間の転送球について
   内野手間の転送球は1回りとし打者が打者席で打撃姿勢を取る前までに投手に返球するようにしてください。
   (注) 試合が著しく遅れている場合は試合の進行を早めるため内野手間の転送球を禁止する場合もあります。
   (6) 内野手の投手への返球について
   投手に返球する内野手は守備位置を離れずに投げ渡してください。
   (7) 投手の投球間隔について
   投手は捕手のサインを見るときは必ず投手板について見るようにしてください。
   (8) 投手の塁への送球について
   離塁していない塁への送球は遅延行為でボークになります。また、無用と思われる塁への送球が
   度を過ぎると審判員が判断した場合、反則行為とみなされます。
   (9) 捕手について
   投球を受けた捕手はその場から速やかに投手に返球すること。
   (10) 打者について
   打者は速やかに打者席に入って打撃姿勢をとること。また、打者者内でサインを見ること。
   次打者は次打者席で低い姿勢で待機すること。投手も必ず実行すること。
   (11) 走者について
   ファウルボールが打たれたときは速やかに戻って元の塁に触れること。
   (12) 内野手について
   内野手が投手の所へ集まるときは往復を駆け足で行い、このためプレイの開始を遅らせてはなりません。
   (13) ベンチについて
   ベンチから無用とおもわれるサインを送ることは許されません。

都筑区少年野球連盟大会規定

連盟取り決め事項

4. リーグ戦の順位決定について

(1) リーグ戦のブロック内順位は勝ち点制（ 勝：3点、引分：1点、負：0点)とし勝ち点の多い順に順位を決定する。
勝ち点が同数の場合
① 当該チームの対戦で勝利したチーム　② 失点が少ないチーム　③ 抽選の順で順位を決定する。

(2) 勝率の順位はリーグ戦における当該チームの勝敗に関係なく（勝数÷(勝数＋負数)）にて算出した
勝率の高い順に順位を決定する。
勝率が同じ場合
① 失点が少ないチーム　② 抽選の順で順位を決定する。

5. その他

(1) グローブからの指出しを禁止します。（指の保護カバー付のものを除く）

(2) 投手は手首へのサポーター、リストバンドの使用を禁止します。
（注）負傷により包帯等が必要なときは、球審及び本部の了解を得ること。

(3) ベンチ前にグローブ、バット、ヘルメット等の用具を置かないこと。

(4) 次の試合の投球練習は、5回以降又は試合終了予定30分前からとする。
バッテリーは一組として危険防止の為、指導者を1名配置し試合球及び投手の暴投等に備えること。

(6) 選手の色付きサングラスの使用を禁止します。必要な選手は大会本部の了解を得ること。

(7) シートノックは原則として午前中の第一試合のみとします。
内・外野2か所でのノックを認める。内野手を超えてのノックは行わないこと。
内・外野共に補助員はヘルメットを着用すること。

(8) 試合前、外野での素振りを認める。但し、大会本部の判断によっては禁止する場合がある。
安全には十二分に配慮し必ず指導者の監視下にて行うこと。

(9) ベンチにはいる監督、コーチ以外もチーム帽を着帽しスポーツのできる服装を着用すること。
半ズボン、スカート、ジーンズ、革靴などは認められません。またタオルなどを首にかけないこと。
熱中症対策の保護者も上記服装に準じ、チーム帽の着帽が望ましいが華美な帽子でなければ構いません。
（注）ベンチ内でのビデオ、写真撮影は禁止します。

(9) グラウンド内では色付きサングラスの着用を禁止します。必要な場合は大会本部の了解を得ること。

(10) 球場内でのトスバッティング、フリーバッティングは禁止とします。

(11) 球場外でのバットの使用（選手も含む）を禁止します。

(12) 監督が不在の時は、代理監督（コーチ29、28の順）が大会本部に報告すること。

(13) 監督、コーチ等の指導者等が、試合中グラウンド外に出た場合は再入場を認めません。

(14) 選手に対して怒声・罵声を浴びせることは厳に禁止します。

(15) 相手選手のプレーを惑わす言動は禁止します。

(16) 試合開始、および終了の挨拶時には代表者・監督・コーチ・スコアラー・マネージャーも
自軍ベンチ前に整列して併せて挨拶すること。

(17) 試合後のグラウンド整備は両チームで行うこと。

(18) グラウンド周辺での練習（ランニング等）を行う場合、周辺住民や他の競技の邪魔にならないように
充分配慮し、無用なトラブルを避けてください。

(19) 会場関係者と無用なトラブルを起こさないよう関係者の指示に従い言動に注意お願いします。

(20) 投手が投球動作に入ったら応援はやめること。

(21) 自チーム及び相手チームの選手に対する野次は行わないこと。当事者と監督を退場させることがある。

(22) 審判員に対する野次、ブーイングは行わないこと。

(23) バックネット裏でのビデオ・写真の撮影や観戦は禁止します。

(24) ゴミは持ち帰ること。また喫煙は決められた場所でのみ行うこと。

都筑区少年野球連盟大会規定

教育リーグに関する事項

1. 教育リーグ特別規則

(1) 試合は6回戦とし試合開始の「プレイ」宣告後、1時間15分を経過したらそのイニングが最終回となります。
日没、降雨などで6回までイニングが進まなくても4回を終了すればゲームは成立する。
(注) 決められた時間が経過したら回数に関係なく正式試合となります。

(2) タイブレーク方式（特別延長）
6回を終了して同点の場合、決められた時間が経過して同点の場合はタイブレークで行います。
タイブレーク方式は前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とし
（投手は除いてよい）、無死一塁、二塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとします。
勝敗が決定しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返しなお勝敗が決定しないときは抽選で
勝敗を決定します。
(注) リーグ戦の場合は引き分けとしタイブレークは行わない。
(注) 大会運営上6回が終了するか、決められた時間が経過して同点場合はタイブレーク方式を
行わず抽選で勝敗を決定する場合もあります。
(抽選) 抽選は○×式とし○印の多いチームの勝ちとします。

(3) 得点差によるコールドゲーム
点差によるコールドゲームは、3回以降10点差、5回以降7点差とします。
(注) リーグ戦の場合、得点差によるコールドゲームは適用しないが、試合開始後1時間15分経過した時点で、
前のイニング終了時の点差が3回以降10点差、5回7点差以上ある時は試合を終了させる。

(4) 正式試合
ゲームは6回戦であるが、暗雲、降雨などで6回までイニングが進まなくとも4回を終了すればゲームは
成立する。

(5) 競技場
投手と本塁間は14.00m、塁間は21.00mとする。

(6) 試合の進行
リーグ戦は3アウト、または打者９人が打席を終えた場合、攻守を交代する。

(7) 登録
複数登録チームの二重登録、入れ替えは禁止とする。

(8) その他
その他の規定は「都筑区少年野球連盟大会規定」に準ずる。

都筑区少年野球連盟大会規定

ティーボールに関する事項

1. 使用球と用具・装具
   (1) 試合球はZETT製とする。
   (2) バットは72cm以内の長さのバットを使用すること。
   (3) 高さ調整できるゴム製ティースタンドを使用する。
   (4) 捕手、打者、走者、ベースコーチはヘルメットを着用すること。

2. 服装
   (1) ユニホームの着用を原則とするが運動できる服装での出場を認める。
      (注) 背番号(同ゼッケンカラー、同文字カラー)は付けること。

3. 競技場
   (1) 12.30mにピッチャーサークル(半径2m)を引き、塁間は18.33mとする。
   (2) 本塁から4.50mにファールライン、42.00mにホームラン・ラインを引く。

4. 試合ルール
   (1) 5回戦とする。(注) コールドなし
   (2) 試合時間は30分とする。(30分を超えて新しいイニングに入らない.)
   (3) 3アウト、または打者9人で攻守を交代する。
   (4) 打者、守備要員は9人とする。(1度ベンチに下がった選手の再出場はできない。)
   (5) ホームラン・ラインをノーバウンドで越えた場合はホームランとする。
   (6) ゴロ(野手に当たった場合も含む)でホームラン・ラインを越えた場合、テイク2とする。
   (7) (走者の進塁を阻止する意思なく)投手または野手がボールを持ってサークル内に入った時、
      或いは捕球、グラブ・身体の一部にボールがサークル内で触れた場合、ボールデッドとする。
   (8) ボールデッドの時点でランナーが次塁に達していない場合は前の塁に戻る。
   (9) 2ストライク後の空振り、またはファールはアウトとする。
   (10) 打者はフルスイングすること。バント、ハーフスイングはファールとする。
   (11) 打者の軸足(右打者の場合は右足)を移動させないこと。(守備側に幻惑させるような行為はしないこと。)
   (12) ボールの一部を打って4.50mラインを超えた場合はフェアーとする。
   (13) 空振りはストライク、ボールに当たらずティースタンドを打ってファールラインを越えた場合は
      ボールデットとし、判定はストライクとする。
   (14) 打者がボールを打つまでランナーは離塁できない。(タッチアップは認められる。)
   (15) 守備側の監督・コーチ(2名まで)はフィールド内(外野)での指導を認める。
      攻撃側の監督・コーチはコーチャーボックス内での指導を認める。
      打者の指導も認める。但し、いずれの場合もインプレー中に選手に触れてはならない。
   (16) 危険防止対策が必要と審判が判断した場合はその指示に従うこと。

5. 危険防止
   (1) 打った後にバットを投げない指導を選手に徹底すること。
   (2) 原則として一塁はダブルベースを使用する。
   (3) ホームより3.00m後方の位置に左右の捕手ラインを引く。
   (4) ホームベースから12.30mに半円を引き、ライン内で守備をさせない。
   (5) グラウンド、及び周辺での素振り、バットを使ってのノックは禁止する。

6. その他
   (1) その他の規定は「都筑区少年野球連盟大会規定」に準じる。
   (2) その他運営などで疑義が生じた場合は、大会の理念に基づいて判断する。

都筑区少年野球連盟大会規定

グラウンド利用に関する注意事項

グラウンド利用ルールに違反した場合、グラウンドが利用できなくなることがあります。
チーム代表者、指導者は下記事項をチーム内への徹底お願いします。
(注) チーム内のみならず、応援の方への徹底お願いします。

□共通利用ルール

(1) 路上駐車は厳禁です。必ず近隣の有料駐車場を利用してください。
　※選手の家族・親族にも徹底してください。
(2) 喫煙は各施設のルールに従うこと。
(3) ゴミは必ず持ち帰ってください。
(4) グラウンド整備は両チームで行ってください。

□ 都田公園（地下に横浜市民の飲料水が貯蔵されています。）

(1) 各チーム4台まで。有料駐車場ではありますが他競技者もおりますのでご留意ください。
(2) 園外の路上駐車は厳禁です。(近隣から苦情が来ます。)
(3) グラウンドのフェンスを越えてボールを取りに行かないこと。
(4) グラウンド内に食物の持込みはできません。（食事は中央広場の中央付近でとること。）
(5) グラウンド外（休憩所・道路）でのキャッチボールは禁止です。
(6) 幼児の立ち小用も厳禁です。ペットの入園はできません。
(7) 必ず駐車場に入り、満車の場合も周辺に路上駐車しないでください。
(8) 使用後はグラウンド全面をトンボ、ブラシで地均ししてください。
(9) トンボ等の使用用具・備品は所定場所に収納し、ブラシについた土は落とすこと。
(10) ベース、プレート、ラインカー等の連盟の用具を都田公園倉庫に入れないでください。

□ 東山田公園

(1) 駐車場は、運営審判部、チーム登録審判員、役員用とします。
(2) 各チームの選手、スタッフはピストンで輸送してください。
(3) 周辺の道路は駐車禁止です。決して路上駐車しないようにしてください。
　（直ぐ警察が呼ばれます。そのようなことがあるとグラウンドが使用できなくなります。）
(4) 隣接する公園での、キャッチボール、素振りなどアップは禁止です。
(5) グラウンドの周りに、歩道になってところは歩行者優先です。
(6) 歩行喫煙、タバコのポイ捨ては厳禁です。

□ 牛ケ谷公園

(1) 各チーム３台まで。
(2) 駐車する車内にチーム名がわかる表示をお願いします。

□ 東方公園

(1) 各チーム４台まで。
(2) 第一駐車場は、運営審判部、チーム登録審判員、役員用とします。
(3) チームは、第二駐車場にまとまって駐車してください。
(4) 駐車する車内にチーム名がわかる表示をお願いします。
(5) 農道へは駐車しないようにお願いします。

□ すみれが丘公園

(1) 車からの乗降は、必ずバックネット上方の路上で行い、他の路上での乗降は厳禁です。
(2) 駐車はコーナン様の屋上駐車場に駐車してください。